

インターンシップを終えて

平成26年8月
アーカンソー州立大学4年
福島 寿実子

1. はじめに

今回、外務省大臣官房総務課地方連携推進室にインターンシップをさせて頂いた福島寿実子と申します。私は、アメリカ南部に位置するアーカンソー州立大学でジャーナリズム学部グラフィックコミュニケーション学科を専攻しております。インターンシップに応募したきっかけは、学校の夏休みの一時帰国で政府機関と民間企業両方のインターンシップを体験し、今後の就職活動に活かしたいと考えたからです。

2. 地方連携推進室での業務

私が2週間で一番印象に残ったイベントは地域の魅力発信セミナーです。このセミナーは毎年、約2～3回ほど開催されると伺いました。日本の各地から6つの府や県・市の方々が代表でプレゼンテーションを外交団の方々の前で行いました。今回は、徳島県、鹿児島県、熊本市、大阪府、大阪市、そして堺市の代表の地方自治体の方がダンスやプレゼンテーションをなさいました。その後、各ブースで、外交官の方にそれぞれの特産品を試食、試飲をして頂き、地方の魅力を発信しようというセミナーでした。

私は、前日から、机や椅子を運んだり、プレゼンテーションで使うパソコンやスクリーンの設置のお手伝いをさせて頂きました。そして当日は外交団の方々、地方自治体の方々両方のセミナーでの様子を写真撮影、インタビューを行いました。インタビューでは、ほとんどの外交団の方々が、このセミナーを楽しみにしているし、地方の情報をたくさん知れると大好評でした。ブースでの試食、試飲も外交団、自治体の方々それぞれが言葉の壁を越えて、コミュニケーションなさって楽しんでいられた様子でした。外交団の方々のアンケート（英文）の和訳をさせて頂きましたが、ほとんどの国の方が、このセミナーはとても多くのことを学べるし、続けて欲しいと回答されていました。

地方自治体の方々のプレゼンテーションを拝見し、何回も練習を行い、このセミナーでどのようにしたら外交団の方々に興味を持ってもらえるかたくさん

お考えになっていらっしゃるなど感銘を受けました。私も、普段学校でプレゼンテーションを行う機会が多いので、自治体の方々が緊張する気持ちが共感できました。

3. インターンシップを終えて

地方連携推進室の皆様にはとてもいい経験をさせて頂きました。普段、生活している上で、政府機関がどのような業務を行っているか漠然としか想像できていませんでした。今回のインターンシップを通してこのような素晴らしい業務を行っている省員の方々がいれば、日本と海外との交流に期待できると思いますし、日本の外交に希望を持ちたいです。2週間という短い間でしたが、大変貴重な経験をさせて頂いたことを感謝しております。